

課題番号: LZ010  
助成額: 25百万円

ライフ・イノベーション

人文社会系

平成 23 年 2 月 10 日  
～平成 26 年 3 月 31 日

# 高齢・障害者の雇用と日本の新しい社会システム

高木 朋代 敬愛大学経済学部 准教授  
Tomoyo Takagi



## 専門分野

人的資源管理  
労働経済・社会学

## キーワード

産業・労働・余暇／差別・排除／人的資源管理／社会保障／身体・  
自我・アイデンティティ／高齢者・障害者／働くことの意味

## WEB ページ

## 研究背景

健康社会の実現は、医療・介護分野の進歩や社会保障制度の改善ばかりによって達成されるわけではない。「働くことは健康によい」という考えは、既に多くの人々によって共有されている。しかし、就業意欲を持つ人が多く、働くことを善とする人が多い日本でも、依然としてその諸力を汲み取る雇用は十分には進んでいない。

## 研究目的

雇用・労働システムから排除されがちであった高齢者・障害者を、「働く場」に招き入れるための社会環境づくりについて検討する。分析では通説を問い直し、1) 他国と比較し非難されてきた日本の政策の意義、2) リテンションへの着目と企業の雇用拡大への道筋、3) 「保障」と「自立」の均衡点について考察する。

## 実績

代表論文: 「高齢者雇用と公正原理: 選抜における合意形成と正義の分配原則」『ジュリスト』5月号, 1441, 24-29, (2012年4月)  
受賞: エコノミスト賞、毎日新聞社 (2009年1月)  
新聞: 日本経済新聞朝刊「Next Challenge 定年65歳時代」(2013年2月25日)  
生産性新聞「コラム: 人と組織の未来」(2013年4月15日～6月25日)  
一般雑誌: 『中央公論』「シリーズ: 人生後半戦一定年後の仕事 人と組織を結びつけるシステムを考える」(2012年4月号、中央公論新社)  
TV: NHK Eテレ「団塊スタイル」「シニアが働きたいのは欲張りか」(2012年11月2日・9日)

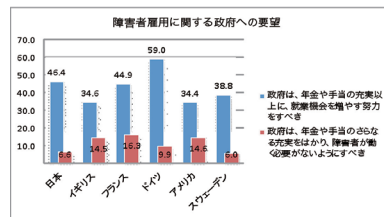
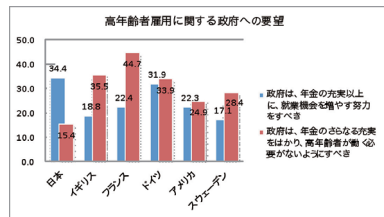
## 研究成果

### 高齢・障害に関する意識の変遷

国内外定性調査、文芸作品 (小説、映画、ドラマ、アニメ、漫画) の解説分析によって、各国が採用する「差別禁止法」によっては差別は無ならないこと、だが人々が持つ差別意識は社会環境で揺れ動く一時代の位相にすぎないのであり、政策によって操作可能であることを提示。

### 保障と自立

日本では、年金制度の充実以上に就業機会を拓くことへの要望が強い。また障害に関しては、いずれの国も社会保障以上に雇用の必要性を認識している。高齢・障害者雇用は、利潤を求める企業の経営と、社会的基本財を求める人々の原初的野心の結合によって進展する。よって、保障と自立の均衡点の研究には、人間の本質の探究が加味されねばならない。



2020年の  
応用展開

日本には日本独自の優位性を活かした高齢・障害者政策がある。その方向性を探索することは、最終的には高齢化に直面する他国の問題や持続的な経済成長の課題解決にも

繋がりを。また高齢・障害者の福祉と雇用の分担と連携を考える本研究の成果は、社会政策、経済政策、労働および経営研究、立法などの議論に貢献する。